

ていがかねん
低学年から

ちゅうがかねん
中学年から

こうがかねん
高学年から

ちゅうがかせい
中学生から

933
す 『王さまのアイスクリーム』

フランセス・ステリット ぶん 光吉 夏弥 やく
土方 重巳 え 大日本図書



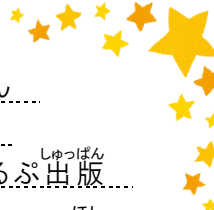
むかし、曜日によってちがう味のクリームをほしがる王さまがいました。寒い時は温め、暑い時は冷やしてほしいという気むずかしい王さまに、コック長は困り……。

913
ま 『それほんとう？』

松岡 享子 ぶん 長 新太 え
福音館書店

E
ロー 『星どろぼう』

アンドレア・ディノト ぶん
アーノルド・ローベル え
やぎた よしこ やく ほるぷ出版



ひとりのどろぼうが空に浮かぶ星をぜんぶ自分のものにしたいと思い、星をぬすんでしまいました。そこで村人たちは、どろぼうをつかまえようと作戦をねります。

E
みね 『うちゅうはきみのすぐそばに』

いわや けいすけ ぶん みねお みつ え
福音館書店

E
のむ 『ヒロシマのいのちの水』

指田 和 文 野村 たかあき え
文研出版



原爆で水を求めながら死んだ人たちに、水をお供えしたいと、毎年120か所以上の慰霊碑をたずねる宇根利枝さん。被爆した時にあったことや思いを絵本で語ります。

E
チャ 『ともだちのしるしだよ』

カレン・リン・ウィリアムズ え
カードラ・モハメッド え ダーグ・チャーカ え
小林 葵 やく 岩崎書店

933
ま 『ライオンつかいのフレディ』

アレグザンダー・マコール・スミス え
もりうち すみこ やく かじり みな子 え
文研出版



フレディは、お父さんの仕事の手伝いでサーカスを訪れました。そこで、サーカスの団長がアシスタントを探していることを知り、夏休みの間サーカスで働くことにします。

913
な 『秘密基地のつくりかた教えます』

那須 正幹 え 黒須 高嶺 え
ポプラ社

夏休みに読んでみよう！

530
う 『宇宙探検えほん』

小学館



天体の様子、さまざまな国の宇宙飛行士や未来の宇宙探検などについて、たくさんさんの絵や写真とともに紹介しています。宇宙探検の世界をのぞくことのできる一冊。

913
さ 『夜空の訪問者』

斎藤 洋 え 森田 みちよ え
理論社

夜空を見上げて

916
て 『飛べ！千羽づる』

手島 悠介 え pon-marsh え
講談社



被爆から10年後に白血病になった佐々木禎子さんは、懸命に生きようと千羽づるを折り続けました。彼女の死後、級友たちの運動をきっかけに「原爆の子の像」が建てられます。

310
や 『これから戦場に向かいます』

山本 美香 え 写真と文 え ポプラ社

平和について考える

913
く 『かはたれ』

朽木 祥 え 山内 ふじ江 え 福音館書店

散在ガ池に住む子どもの河童の八寸は、長老の提案で、夏の間、猫の姿になって人間の世界に修行に出ることに。母親を亡くした女の子・麻と出会い、彼女の家で暮らしますが……。



943
け 『エーメールと探偵たち』

エーリヒ・ケストナー え
池田 香代子 え 岩波書店

530
さ 『小惑星探査機「はやぶさ」』

宇宙の旅

佐藤 真澄 え 汐文社

2010年6月に地球へと戻ってきた小惑星探査機「はやぶさ」。その誕生や、困難の連続だった7年間の宇宙での様子などを、くわしく伝えています。

283
か 『ガリレオ』

フィリップ・スティール え
赤尾 秀子 え B.L.出版



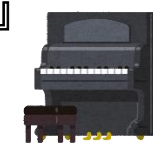
949
れ 『みんながそろろう白』

ヨーケ・ファン・レーウェン え マリカ・ブライン え
野坂 悦子 え 鈴木出版

モロッコの少女ジマの家は8人家族。貧しくても笑いの絶えない毎日を過ごしていましたが、ジマが11歳の時、学生運動をしていた兄さんが投獄されてしまいます。

916
や 『海をわたる被爆ピアノ』

矢川 光則 え 講談社



913
さ 『サマータイム』

佐藤 多佳子 え 偕成社



ある夏の日、進は左腕を失った少年。広一と出会う。彼が片手で弾くピアノに魅せられた進と、一つ上の姉・佳奈の3人の物語。表題作のほか一編所収、続編に『九月の雨』がある。

933
へ 『シカゴよりこわい町』

リチャード・ペック え 斎藤 倫子 え
東京創元社

530
さ 『月はぼくらの宇宙港』

佐伯 和人 え 新日本出版社

アポロ11号の月面着陸から50年。月探査の歴史や成果、月で人が暮らす未来に向けた最新の研究のほか、身近なものを使って宇宙の現象を確かめる実験も紹介。

440
は 『星の声に、耳をすませて』

林 完次 え 講談社



943
り 『あのころはフリードリヒがいた』

ハンス・ペーター・リッター え
上田 真而子 え 岩波書店

ぼくとフリードリヒは幼馴染だが、ユダヤ人のフリードリヒの一家は、ヒトラー政権下で次第に追いつめられてゆく。誰もが加害者になり得る狂気を少年の眼を通して描く。

210
て 『綾瀬はるか「戦争」を聞く』I・II

T.B.S.テレビ『NEWS 2.3』取材班 え
岩波書店